

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉

(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営
常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

今年も残り少なくなった。振り返ってみると、今年はトランプ大統領の就任に始まり、その発言に戸惑うことも多かった年と言える。アメリカ第一主義の標榜で保護貿易への懸念と共に、メキシコに展開している企業も、投資計画を一部見直しアメリカへの投資拡大を図るなど拠点戦略を見直した企業もあった。

もともと資源のない日本は、原材料を輸入し、それを加工して輸出することで、外貨を稼いできた。しかし、民主党政権下での「製造業は日本から出ていけ」政策により、製造業への就業者は1000万人まで減少すると共に貿易収支は赤字に転落。日本が担っていたマザーファクトリーの機能が消滅し、日本のものづくりはどこに行ったのかという事例も多く発生するようになった。安倍政権になってようやく黒字化した貿易収支だが保護貿易主義の台頭はそれに水を差す動きと言える。そのような中で、

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

「何としても利益を出せ」、「何としても生産性を上げよ」、「不良を減らせ」、経営者であれば誰もが思うことであり、これらのことを指示するのは当然のことだ。しかし、この推進方法には企業の

「コンサルタンの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

足元を固める

本年気になったこと

今年日本を代表する企業が経営危機に見舞われる事態が多く発生した。不正会計問題や品質問題、それに伴う対応で当該企業の苦勞はいかばかりのものであったであろうか。これらの問題に共通するものがベースとしてのコンプライアンス問題である。そういう意味で、今年は各社を支援させていた

トップによって大きな差がある。コンプライアンス問題を引き起こす可能性があるのでないかと感じる企業は、「利益計画未達とは何事か」、「これだけ多くの不良を出しているとは何事か」というように指摘と共に叱責する

コンプライアンス問題が発生することはないかと思わせる企業はどういう企業だろうか。それは、常に問題を表に出さうという風土ができている企業だ。そんなことはできるのかと思われる読者もあるかもしれない。しかし、経営トップが問題を表に出してその問題に対して評価する姿勢を取り続けるとそのような風土は醸成できる。

実際、不良データの取り方も、工程内検査で発見したものだけを工程不良とだけ見ていたのではムダは見つからないので、工程でミスして作業しなおしたのも不良としてカウントして改善しようとする。この職場ではライン落ちさせていないものでもミスして作業し直したものはすべてカウントして改善に取り組み、作業ミスがでない工程に革新している。加工治具が作られたり、設計を変更して一発で位置決めして作業できるように変更したりと、

トップによって大きな差がある。コンプライアンス問題を引き起こす可能性があるのでないかと感じる企業は、「利益計画未達とは何事か」、「これだけ多くの不良を出しているとは何事か」というように指摘と共に叱責する

コンプライアンス問題が発生することはないかと思わせる企業はどういう企業だろうか。それは、常に問題を表に出さうという風土ができている企業だ。そんなことはできるのかと思われる読者もあるかもしれない。しかし、経営トップが問題を表に出してその問題に対して評価する姿勢を取り続けるとそのような風土は醸成できる。

実際、不良データの取り方も、工程内検査で発見したものだけを工程不良とだけ見ていたのではムダは見つからないので、工程でミスして作業しなおしたのも不良としてカウントして改善しようとする。この職場ではライン落ちさせていないものでもミスして作業し直したものはすべてカウントして改善に取り組み、作業ミスがでない工程に革新している。加工治具が作られたり、設計を変更して一発で位置決めして作業できるように変更したりと、

Providing is preventing

近年タイにおいては法令順守が強化、特に工場、倉庫に対する消火設備設置の要請がでております。ヤマトプロテックアジアでは、タイの現状にあわせて新設および後付けでの消火設備の法令相談・設計・設置をご予算にあわせて承っております。

火の用心

1 水系 消火設備		1. スプリンクラー設備 2. ドレンチャー設備 3. 水噴霧消火設備 4. 連結散水設備	5. 連結送水管 6. 採水口 7. 消火栓 8. パッケージ型消火設備
2 泡 消火設備		1. 泡消火薬剤 2. 泡消火薬剤混合設備 3. 駐車場用泡消火設備 4. 特定駐車場用泡消火設備	5. 各種機器 6. 危険物泡消火設備 7. 泡消火設備放射点検用の試験液体 8. セルフガソリンスタンド用消火設備
3 ガス系 消火設備		1. 設備機器 2. 不活性ガス(二酸化炭素、FM200、窒素ガス) 3. 移動式不活性ガス消火設備	
4 粉末 消火設備		1. 設備機器 2. 粉末モニター 3. 移動式粉末消火設備	

YAMATO PROTEC ASIA CO.,LTD.

128/379 Phayathai Plaza Building,FL.35 Unit B,Phayathai Rd.,Thung Phaya Thai, Ratchatewi,Bangkok 10400
Tel 02-129-3413~4 (タイ語・英語) Fax 02-129-3412 www.yamatoprotec.co.jp

担当:原口:06-270-0702 haraguchi@pa.in.th

アジアをネットワークでサポートします。
ヤマトプロテック株式会社 東京本社 Tel:03-3446-7151 Fax:03-3446-7243
〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2
Yamato Protec Dalian Co.,Ltd. Tel:+86-411-8259
116001 Room6 8F, HongfuBuilding No45,Shanghai Road, Zhongshan District,Dailan City,China
Yamato Protec Taiwan Co.,Ltd. Tel&Fax:04-2301-7632
6F-10 No.161. Gong Yi Rd., West Dist.,40360,Taiwan
Yamato Protec(Dong Nai) Co.,Ltd. Tel:(84-61)3936562-3936564 Fax:(84-61)3936563
Lot 222,Road 4, Amata IP,Long Binh Ward,Bien Hoa City, Dong Nai province Vietnam
Yamato Protec Viet Nam Co.,Ltd.
30 Dai Lo Doc Lap Vietnam Singapore Industrial Park Tuan An District Binh Duong Province Vietnam

